学長定例記者会見要項

日　　時：　令和２年２月６日（木）　１１：００～１１：４５
場　　所：　法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟４階）

発表事項

1. 山形大学と明治大学が包括協定を締結

2. 山形大学男女共同参画基本計画（第２次）を策定
　～男女共同参画及びダイバーシティのさらなる推進へ～

3. データサイエンス教育研究推進センターの活動について
　～分野横断・産学連携でデータサイエンス教育を加速～

4. 「つくろう、おもしゃい米沢」開催！
　～学生企画の映画上映会・ワークショップイベント～

お知らせ

1. インドネシアの大学生と生物多様性の分析手法を学ぶ
　～JSTさくらサイエンスプランに採択、理学部～

2. 台湾セミナー「日台関係のこれから」を開催します

（参　考）
○ 次回の学長定例記者会見（予定）
　日　時：令和２年２月２０日（木）１１：００～１１：４５
　場　所：法人本部第二会議室（小白川キャンパス法人本部棟４階）

学長定例記者会見（２月６日）発表者

1.　山形大学と明治大学が包括協定を締結

学長　　　小山（こやま）　清人（きよひと）

2.　山形大学男女共同参画基本計画（第２次）を策定
～男女共同参画及びダイバーシティのさらなる推進へ～

学術研究院　准教授（男女共同参画推進室チーフコーディネーター）
井上（いのうえ）　榮子（えいこ）

3.　データサイエンス教育研究推進センターの活動について
～本学の取り組みがグッドプラクティスとして紹介されました～

学術研究院　教授（数理科学/理学部担当）　　脇（わき）　克志（かつし）

4.　「つくろう、おもしゃい米沢」開催！
～学生企画の映画上映会・ワークショップイベント～

工学部４年　　　平（たいら）　春来里（すぐり）

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和2(2020)年2月6日

山形大学と明治大学が包括協定を締結

【本件のポイント】

- 教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、日本の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的。
- 就職活動支援等の学生支援、ＥＭ（エンロールメント・マネジメント）やＩＲ（インスティテューショナル・リサーチ）の分野での連携を強める。
- 山形大学が私立大学と包括協定を締結するのは今回で２例目。

【概要】

山形大学（学長：小山清人）と明治大学（学長：土屋恵一郎）は教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、わが国の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的として、大学間交流に関する包括協定を令和元(2019)年 12 月 26 日に締結しました。協定期間は、５年間。

今後、本協定に基づき、学生・教職員の交流をはじめ、両大学の連携を推進します。

【協定締結の経緯】

山形大学と明治大学は、ともに日本全国から学生が集まる総合大学です。

山形大学は「地域創生」「次世代形成」「多文化共生」を３つの使命として掲げ、教育研究、地域貢献に全力で取り組んでいます。

明治大学は、創立者のひとり、宮城浩蔵氏の出身地である天童市と 2010 年に締結した連携協力協定のもとで、学生のフィールドワークや市民公開講座などを実施してきました。

地域創生には、都市圏との交流が不可欠なものであるという共通認識を持っており、双方の強みを活かして連携することにより、次代を担う人材育成と両大学の教育研究の発展、ひいては地域の発展に寄与するものと考え、今回の包括協定の締結に至ったものです。

※山 形 大 学：6 学部、7 研究科。山形県内に 4 つのキャンパスを持つ。学生数は約 9 千人。
明 治 大 学：10 学部、16 研究科（うち 4 研究科は専門職大学院）。東京都を中心に 4 つのキャンパスを持つ都心型大学。学生数は約３万３千人。
山形県出身の学生が 1 学年あたり 20 名程度在籍。U ターン率は 2 割弱。
（2019 年 5 月現在）

【今後の取り組み】

以下のような連携を予定しており、今後、具体的な調整を進めてまいります。

(1) 就職活動支援、インターンシッププログラムへの受入・派遣
(2) ＩＲ担当者向け実践プログラムの開講
(3) 学生の交流（フィールドワークでの受入・派遣）
(4) 教職員の交流（FD・SD の共同実施、職員の受入・派遣）
(5) 研究者の交流（共同研究、研究成果発表会の共同開始）

【協定の内容について】

締結日：令和 2(2020)年 12 月 26 日

目　的：山形大学と明治大学は教育・研究活動の包括的な交流と連携・協力の推進によって、わが国の教育・研究の一層の進展と次世代を担う人材の育成に資することを目的とする。

期　間：締結日から5年間（更新有り）

連携事項：（１）学生の交流
（２）教職員の交流
（３）共同の教育、研究プロジェクト
（４）施設の相互利用
（５）その他本協定の目的を達成するために必要な事項

お問い合わせ
山形大学　教育・学生支援部学務課（松田）
TEL　023-628-4840　　メール　k-gakumu@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和２年（2020年）２月６日

山形大学男女共同参画基本計画（第2次）を策定

～男女共同参画及びダイバーシティのさらなる推進へ～

【本件のポイント】

- 男女共同参画及びダイバーシティの推進に係る令和２年(2020年)度から 10 年間の基本計画(第２次)を策定
- 第1次男女共同基本計画期間（平成22年(2010)度からの10年間）では、文部科学省の採択事業や学内保育所の整備、県内高等教育機関のネットワーク設立等の取り組みを実施
- 他大学や地域とのネットワークを築き、さらなる男女共同参画及びダイバーシティの推進に取り組む

【概要】

山形大学は、平成22年(2010年)に策定された山形大学男女共同参画基本計画により、男女共同参画推進委員会を中心に男女共同参画を推進してきました。この間、文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」（平成21～23年度）や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」（平成27～令和2年度）の採択を経て、充実を図ってきたところです。

山形大学男女共同参画基本計画の計画期間が令和元年度で終了するため、今年度は山形大学男女共同参画推進委員会でワーキンググループ（座長：理事特別補佐 河野銀子委員）を設置して検討を重ね、山形大学男女共同参画基本計画（第2次）を策定しました。計画期間は、令和2年度から令和11年度までの10年間です。山形大学は、令和2年(2020年)4月より第2次基本計画に基づき、本学の学生及び職員が性別、性的指向・性自認等にかかわらず、あらゆる活動において個性と能力を発揮できる大学を目指すとともに、他大学や地域社会とネットワークを築き、男女共同参画及びダイバーシティを一層推進していきます。

【第１次基本計画期間の成果】

山形大学では第１次基本計画のもと、全学をあげた男女共同参画の推進と、ワーク・ライフ・バランスの実現に取り組んできました。特に、文部科学省「女性研究者支援モデル育成事業」（平成21～23年度）や「ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブ事業」（平成27～令和2年度）の採択を経て、すべての学生と教職員が性別にかかわらず個性と能力を発揮できるよう、次のような環境等の整備を行ってきました。

・キャンパス内に保育所を設置（小白川キャンパス：保育所・企業主導型保育所・学童の一時預かり/飯田キャンパス：保育所・病児保育室／鶴岡キャンパス：地元銀行内保育施設の利用／米沢キャンパス:託児支援）
・育児や介護で仕事との両立が困難な男女研究者に研究支援員を配置（毎年、約２０名を支援）
・学会参加時の保育支援制度、夜間保育・休日保育・学童保育利用料補助、ライフイベントからの復帰支援
・おむつ替えシート付のトイレ設置

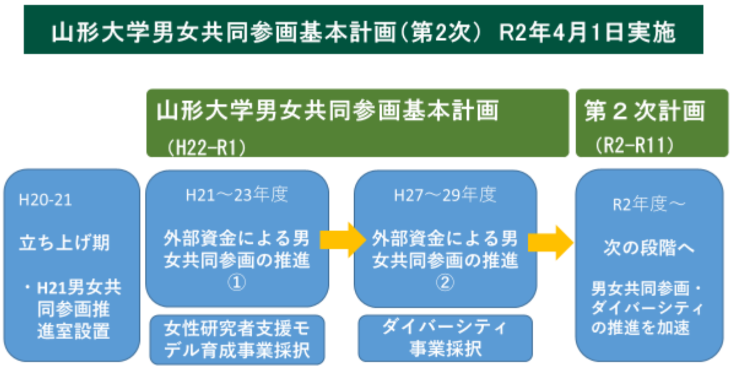
本学では、外部資金による支援期間終了後も大学独自で継続して支援を行ってきました。これらの支援は、他大学でも行っているものですが、本学は実施規模が大きく、特に地元銀行と連携した企業主導型保育所は両立支援の好事例として評価されています。

【山形大学男女共同参画基本計画（第2次）の概要】

これまでの10年間の成果や昨年度実施した「男女共同参画に係るアンケート調査」結果を踏まえ、また我が国の男女共同参画に係る動向と国立大学協会における目標等に鑑み、男女共同参画に加えダイバーシティを一層進することを目的に、基本方針及び具体的施策を策定しました。主な改善点としては、目的にダイバーシティの推進を加え、女性教員比率などに関するより高い数値目標、無意識のバイアスのチェック、性的指向・性自認の配

慮などを明記しました。平成３０年度に大学コンソーシアムやまがたに設置した「ダイバーシティ推進ネットワーク」など、他大学や地域との連携は一層推進していきます。

主な内容は次のとおりです。（第２次基本計画より抜粋）



1. 教職員等の男女機会均等の実現・格差の是正

- 令和 11 年度までに、大学全体の教授の女性比率は 15%以上、准教授は 23%以上、女性教員比率は 20%以上の達成を目指す。
- 役員、副学長、部局長、経営協議会委員、教育研究評議会評議員は、20%以上の達成を目指す。
- 女性教職員の人材育成のため積極的な方策を推進し、管理職比率の向上に向けた登用等を積極的に行う。
- 無意識のバイアスに配慮し、積極的な改善策がとられているかを点検するなど、男女格差是正のためのチェック機能を導入する。

2. 教育・研究及び就労と家庭生活との両立のための環境作り

- ユビキタス・ワーキングを可能にする環境を整備する。
- 男女共同参画の実現を目的とする相談体制、研究継続支援員及び学会出張時の支援体制を整備する。
- 保育制度と育児・介護支援を充実し、就労環境・就労慣行の見直しを図る。

3. 意見・要望等をくみ上げ、共有するシステムの整備

- 男女共同参画及びダイバーシティに関する施策の策定や実施に関する意見や要望を積極的にくみ上げ、情報を共有し、相互に協力して対応するシステムを整備する。

4. 意識改革の促進

- 個々の性別、性的指向・性自認にかかわらず、本学の学生及び教職員が自然にお互いを認め、受け入れられる組織を目指す。
- シンポジウムやセミナー等の開催し、学内外へ情報発信する。
- 女性研究者ネットワークを構築し、学長・学部長と女性研究者との懇談会を開催する。

5. 女性研究者の裾野拡大

- 女子中高生向けのセミナー・交流会等を開催する。
- 女性学生の研究活動の活性化に向けたネットワーク活動を支援する。

6. 教育・研究の充実

- 男女共同参画及びダイバーシティに関連する授業や女性のキャリア支援教育科目を拡充し、優れた取組に対する表彰制度を設ける。

7. 学内の調査・分析・統計等の情報提供

- 男女共同参画及びダイバーシティに関するアンケート及び調査を定期的に実施し、基本的データを公表する。

8. 地域社会等との連携

- 男女共同参画及びダイバーシティに関して他大学や地域の自治体等とのネットワークを築き、連携を図る。

お問い合わせ　　山形大学　男女共同参画推進室
TEL：023-628-4937/4938/4939　Email: y-danjo@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

令和2年（2020年）2月6日

データサイエンス教育研究推進センターの活動について

～分野横断・産学連携でデータサイエンス教育を加速～

【本件のポイント】

- 分野横断の気軽な集まりデータサイエンスcaféが本日で29回目の開催
- 産学連携のデータサイエンススタディセッションも3月より第3期の募集を開始
- 内閣府AI戦略実行会議の資料でも活動が取り上げられています。
- データサイエンス多目的ホールのリニューアル整備

【概要】

今年度、文部科学省共通政策課題「数理・データサイエンス教育教科経費」に採択されたことにより、山形大学データサイエンス教育研究推進センターが設置され、分野横断の気軽な集まりデータサイエンス café（本日第 29 回を開催予定）や産学連携で学生と社会人が学び合うデータサイエンススタディセッションが行われてきました。この活動は、内閣府 AI 戦略実行会議の資料に取り上げられています。また、3 月には、第 3 期のデータサイエンススタディセッションの学生募集も開始します。

【データサイエンスcafé】（毎月第１・第３木曜日の午後5時半～7時で開催）

データサイエンスや人工知能に興味を持つ学生・教員・社会人が集まってそのときに興味に合わせたトピック型の勉強会を行います。出入り自由で、飲み物持ち込み可、毎回のテーマに興味を持った方が集まって、新しい交流がここから始まっています。

【データサイエンススタディセッション】

時間的な余裕は無いがスキルアップを目指したい社会人と、時間はあるが今後のスキルアップに向けた明確な方向性を見いだせずにいる学生が、協働学習を行っています。参加希望社会人が目指すスキルアップの内容を共に学ぶ学生を募集します。参加学生と社会人がプレゼンテーションや議論を通して、知識・技能への理解をより深めてもらいます。

【AI時代に求められる人材育成プログラム】

内閣府・文部科学省・経済産業省の3府省により「AI時代に求められる人材育成プログラム～デジタル社会の基礎知識『数理・DS・AI』教育 グッドプラクティス～」の募集があり、山形大学の応募内容が内閣府AI戦略実行会議の資料3－1でAI等教育プログラムの主な事例として取り上げられました。

(https://www.kantei.go.jp/jp/singi/ai_senryaku/suuri_datascience_ai/dai1/gijisidai.html)

お問い合わせ　　学術研究院教授　脇　克志（理学部担当）
TEL 023-628-4637　メール　waki@sci.kj.yamagata-u.ac.jp
学術研究院教授　中西正樹（地域教育文化学部担当）
TEL 023-628-4428　メール　m-naka@e.yamagata-u.ac.jp

数理・データサイエンス教育強化プロジェクト

DATA SCIENCE CAFÉ

データサイエンスカフェ

カフェにいるような気分で気軽に学ぶ、データサイエンス

本企画は、毎回異なる講師をお招きし、数理データサイエンス・AI人工知能に関する身近なテーマから専門的な分野まで幅広い内容で発表いただくトピック型の勉強会です。
データサイエンスに興味はあるけど何から始めていいか分からないという方もお気軽にご参加ください。

会場 データサイエンス多目的ホール 511
山形大学小白川キャンパス 理学部2号館 5階

参加 無　料
申込不要

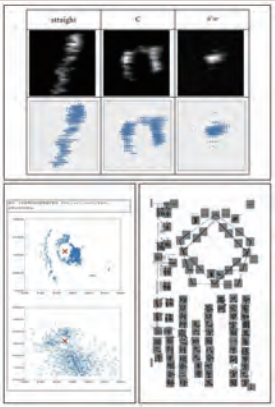
今月のテーマ **学生が挑戦したデータサイエンス**

2月 6日(木) 17:30～

脇研究室の研究発表会

山形大学理学部　**脇研究室**

3名の学生さんによる３つの挑戦を紹介します。



●**火山岩塊の噴火パラメータを強化学習で推測する**
本間　光弥 さん

●**X線偏光画像をパーシステントホモロジーで分類する**
神保　拓哉 さん

●**和算書におけるディープラーニングやコンピュータービジョンの技術の活用**
鈴木　卓哉 さん

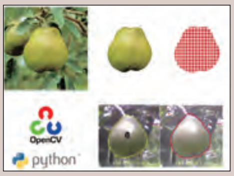
2月20日(木) 17:30～

OpenCVを用いた画像解析プログラム

山形大学理学部　奥野研究室　**清水　ひとみ** さん

●**OpenCVによる画像解析プログラムについて**
卒業研究のために設計した画像解析プログラムについて説明します。「画像解析」とはそもそもどんな仕組みか、OpenCVというライブラリでできることとは、などを簡単に説明します。

●**"ゼロからプログラミング"のコツ**
化学科出身（情報系の知識ゼロ）でプログラムを作った経験から、初学者が使うと便利なプログラミングツールや、わかりやすかった本などをいくつか紹介します。



●**データサイエンス系の新卒就活裏話**
新卒でデータサイエンス系の就職を目指した就活体験記を少しだけお話しします。新卒データサイエンティストの募集実態、採用時点で求められやすいスキルなどを大まかにお伝えします。

途中参加・途中退室自由＆飲み物持ち込み可

セルフカフェコーナーもお気軽にご利用ください！ 1杯50円～

会場に来られない方は、統合メッセージングサービスGoogle Meetを使ってパソコンやスマートフォン経由で参加することが可能です。
詳しくは右のQRコードからHPをご覧ください。

こんな方は是非ご参加ください

- データサイエンスに興味がある、学んでみたいが、何から始めたらいいか分からない
- 数理データサイエンス・AI人工知能に関する理解を深めたい
- 学外の講師の発表を聞いてみたい
- 学部外の人と交流したい

山形大学データサイエンス教育研究推進センター
derp-info@jm.kj.yamagata-u.ac.jp　代表／脇 克志（理学部）

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学 Yamagata University

令和２年（2020年）2月6日

「つくろう、おもしゃい米沢」開催！

～ 学生企画の映画上映会・ワークショップイベント ～

【本件のポイント】

- 「山形大学と交流する会」の学生コーディネーター（AA）は、地域に暮らす様々な世代の皆様との交流を深めるため、新イベント「つくろう、おもしゃい米沢」を開催します。
- 「つくろう、おもしゃい米沢」は、AAの活動紹介、映画「おだやかな革命」の上映とワークショップの３部構成で開催します。
- 現在、参加者を募集しています（参加費無料）。参加希望の方は、応募フォームからお申込みください。

【概要】

「山形大学と交流する会」は、山形大学における研究の発展と人材の育成を支援するとともに、会員企業様と山形大学の職員及び学生との交流を推進することによって、地域の活性化等に寄与することを目的としています。「山形大学と交流する会」の学生コーディネーターは、学生 AA（アドミニストレイティブ・アシスタント）として山形大学の職員として活動しており、様々な活動を自ら企画・運営することで地域の活性化の一環を担っています。

今年の企画は、伝国の杜 置賜文化ホール（米沢市）で、地域に暮らす様々な世代の皆様との交流を深めることを目的に開催する「つくろう、おもしゃい米沢」です。

鶴岡市出身の渡辺智史監督のドキュメンタリー映画「おだやかな革命」の上映を通して、地域の方と学生が自分たちの住む地域を共に考えるイベントを企画しました。作品の中で映し出される人々は、地域に対する思いが暮らしを変える原動力となっています。「自分にとっての本当の豊かさは何かを考え、明日からの日々の暮らしの選択を変える」をテーマに皆で話し合いましょう！

【開催要項】

日　時　：　令和２年２月２４日（月・祝）１３時３０分開会　１７時００分終了予定
会　場　：　伝国の杜 置賜文化ホール　第２小会議室（山形県米沢市丸の内一丁目２番１号）
会　費　：　無料
定　員　：　３０名（定員になり次第、申込みを締切ります。）

◇スケジュール◇

１３：００	**受付開始**
１３：３０	**開会・活動紹介**
１３：５０	**映画「おだやかな革命」上映**
１５：４０	**ワークショップ**
１７：００	**終了予定**

↓参加申込みはこちらから↓

【申込方法】

下記の応募フォームからお申込みください。

URL：https://forms.gle/kzDbfXGdxM7BFgsT8

（申込受付の締切：２月２０日（木）１７時００分まで。ただし、定員になり次第、申込みを締切ります。）

【お問い合わせ】
山形大学　エンロールメント・マネジメント部　社会連携課　担当；五味・佐藤
TEL　：023-628-4844　　MAIL：yamagata.kouryuu@gmail.com

「地域貢献ってなんだ」
考え続けた４年間。
自分の力の小ささを思い知った。

まだ自分には大きな変化は
起こせない。

でも、スーパーで伝統野菜
を手に取るようになった。

つくろう、おもしゃい米沢

映画

Silent Revolution

おだやかな革命

〜これからの暮らしを巡る物語〜

入場無料

地域を考える
ワークショップ付き

2月24日13：30〜

（13：00開場　17:00終了予定）

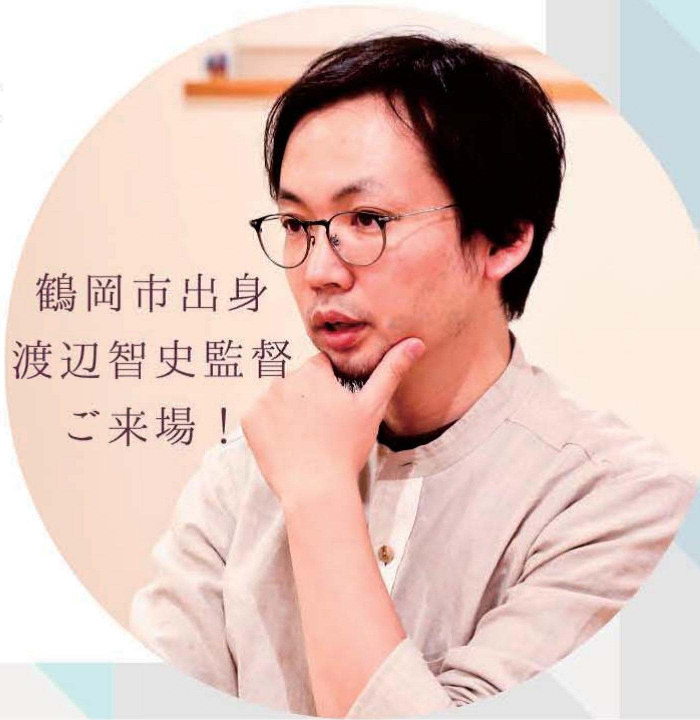
場所：伝国の杜　第２小会議室

（米沢市丸の内1丁目2番1号）

問合先：080-5847-3973(平)

主催：山形大学と交流する会

お申し込みは
Googleフォーム
もしくはお電話で



鶴岡市出身
渡辺智史監督
ご来場！

13：50～「おだやかな革命」上映

Story

原発事故後に福島県の酒蔵の当主が立ち上げた会津電力。放射能汚染によって居住制限区域となった飯館村で畜産農家が立ち上げた飯館電力。岐阜県郡上市の石徹白、集落の存続のために100世帯全戸が出資をした小水力発電。さらに首都圏の消費者と地方の農家、食品加工業者が連携して進めている秋田県にかほ市の市民風車。自主自立を目指し、森林資源を生かしたビジネスを立ち上げる岡山県西粟倉村の取り組み。都市生活者、地方への移住者、被災者、それぞれがエネルギー自治を目指すことで、お金やモノだけでない、生きがい、喜びに満ちた暮らしの風景が生まれている。成長・拡大を求め続けてきた現代社会が見失った、これからの時代の「豊かさ」を静かに問いかける物語。

自分は、これで幸せかという問いがちゃんと真ん中にある
これは革命と言ってもいい。
でも、今まで多くの人が想像してきた革命とは全然違うものなのではないか
――辻 信一（文化人類学者）

秋田 Akita

日本海からの風が吹く、にかほ市にたつ大きな風車。生活クラブ生協が、この風車を起点にしたコミュニティづくりを続けている。地域にあたりまえに吹く風は、首都圏と地域の作り手を繋いでいった。

岡山 okayama

地域の間伐材を使って若者が起業・移住する1500人の西粟倉村。見向きもされなかった森林は、地域の温泉施設の熱源に、美しい家具に、そして地域のつながりの中心に。

福島 Fukushima

福島県には、震災後に2つの電力会社が誕生した。立ち上げたのは、原発事故により全村避難になった飯館村の元畜産農家と、綺麗な水で有名な喜多方市の酒蔵の当主。故郷を次の世代に繋いでいくための、二人の決意、葛藤とは。

岐阜 Gifu

郡上市にある約100世帯の小さな集落、石徹白。伝統的な文化や暮らしを大切にする移住者を起点に、地域に残る農業用水路で小水力発電事業が立ち上がる。地域の価値に気付き始めた地元住民との、懐かしくて新しい未来づくりが始まっていく。

Introduction

自然と向き合い、人と向き合い、地域と向き合いながら、これからの暮らしを自らの手で作っていこうとする人たちがいる。そんな彼らの、穏やかな、そして力強い挑戦の姿を追ったのは、前作『よみがえりのレシピ』で、高度経済成長期に見捨てられてしまった伝統野菜のタネをめぐる物語を描いた渡辺智史監督。各地で始まる「暮らしの選択」、その先にある未来の風景を見据えながら、懐かしくも新しい時代への入口へと観客を誘う。

この映画には、静かに力強く、ふつふつと湧き上がってくる力があります。
その力はあまりにも美しく、切なく、愛に満ちていて、胸が締め付けられそうにもなります。
でも、そこに「光」を感じます。パンドラの箱に残った「希望」のように。
―――鶴田真由（女優）

ナレーション：鶴田真由｜監督・編集：渡辺智史｜撮影：佐藤広一｜音楽：鈴木治行｜MA：中野坂上スタジオ｜協力：高橋真樹
2017年 / 日本 /100分 / カラー /DCP・Blu-ray｜配給・製作：いでは堂｜特別協賛：一般財団法人 ふくしま自然エネルギー基金
取材協力　会津電力、飯館電力、石徹白農業用水農業協同組合、生活クラブ生活協同組合、西粟倉・森の学校、村楽エナジー、枝廣淳子、辻信一、広井良典 ほか
《映画「おだやかな革命」公式HP》http://odayaka-kakumei.com　@odayakakakumei

15：40ごろ～

学生による 地域を考えるワークショップ

「自分にとっての本当の豊かさとは何か」を地域でみつけ、暮らしの選択を変えた人々を映した「おだやかな革命」。一人ひとりの選択がいつのまにか持続可能な地域への転換に繋がっているのかもしれません。画面の向こう側の物語で終えないために。映画を観た後、自分と自分の暮らす地域の繋がりをゆっくりと考えるワークショップです。

プレス通知資料（概 要）

山形大学
Yamagata University

令和２年(2020 年) ２月６日
山　　　形　　　大　　　学

＊詳細は別添の資料をご覧ください。

1. インドネシアの大学生と生物多様性の分析手法を学ぶ
～JSTさくらサイエンスプランに採択、理学部～

理学部提案のプロジェクトがＪＳＴさくらサイエンスプランに採択され、２月１６日（日）～２２日（土）の期間、インドネシア・ガジャマダ大学から学生１０名を受け入れます。山形大学の生物多様性の分析における先端技術を学ぶ様子を一部公開します。

日時：２月１８日（火）１０：００～１２：００

2. 台湾セミナー「日台関係のこれから」を開催します

山形市民を対象に、台湾についてもっと深く知ることができるセミナーを開催します。

日　時：２月１５日（土）１３：００～１６：３０

会　場：小白川キャンパス人文社会科学部103教室

※これまでの定例会見でお知らせしたもので、開催が迫っているイベント

◎ 産学金連携コーディネータ認定証授与式　～遠藤金融庁長官を迎え記念講演も～

日　時：２月７日（金）１３：３０～１７：４０

会　場：山形国際ホテル３階 富士の間

◎ モンテディオ山形杯「雪中棚田サッカー大会in大蕨2020」

日　時：２月１５日（土）８：３０～１３：３０

会　場：山辺町大蕨の棚田

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和2年（2020年）2月 6日

インドネシアの大学生と生物多様性の分析手法を学ぶ

～JSTさくらサイエンスプランに採択、理学部～

【本件のポイント】

●国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）が募集する「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）」の1つに採択。

●大学間協定を結ぶインドネシア・ガジャマダ大学から、大学生10名を本学に招き、生物多様性を分析する近代的な手法を授ける。

●東南アジア地域の環境保全を担う人材育成を山形大学がサポート。理学部の学生には、外国人学生との交際交流で国際感覚を養う機会を提供。

【概要】

日本の最先端科学技術に触れることを通じて、アジア地域の優秀な人材育成を目指す「日本・アジア青少年サイエンス交流事業（さくらサイエンスプラン）【募集：国立研究開発法人科学技術振興機構（JST）】に、山形大学理学部が提案したプロジェクトが採択されました。

本プロジェクトでは、地球上で最も生物多様性が著しい地域の一つであるにも関わらず、開発などによって保全対策が追いつかないために、生物情報の記録や分析が課題となっている東南アジア地域の現状に着目。大学間協定を結んでいるインドネシア・ガジャマダ大学から大学生 10 名を本学に招き、生物の多様性の情報を短時間で把握することが出来る「DNA バーコーディング」という手法を、本学の横山潤教授がレクチャーします。インドネシアからの大学生には、本学理学部の日本人学生がグループとなって学びをサポートします。

【こんなプロジェクトです】

■実 施 名：「DNA バーコーディングで明らかにするアジアの生物多様性」
■開催時期：2020 年 2 月 16 日(日) ～ 22 日(土)
■会　　場：山形大学小白川キャンパス 理学部 2 号館
■内　　容：16 日・17 日は、植物や昆虫の多様性や進化に関する基礎講義を実施。
18 日～20 日は、外国人学生が実際に生物試料から DNA を抽出し、生物多様性を記録するための近代的手法である「DNA バーコーディング」の基礎を日本人学生とともに学びます。

★プログラムの山場である、DNA 抽出の実験を行う **2 月 18 日(火)10:00-12:00 を報道機関向けに公開**します。
インドネシアの学生たちが、山形大学の生物多様性の分析における先端技術を学ぶ姿をご覧いただけます。

【ガジャマダ大学と山形大学の関わり】

1949 年創立のインドネシアの国立大学。国内トップクラスの大学で、18 学部を持つ総合大学として世界大学ランキングにもランクイン。今回、特に教育研究に力を入れている生物学部から大学生 10 名と教員 1 名を招聘します。山形大学とは、2013 年 2 月に大学間協定を締結。本学理学部や農学部と個別の学部間協定も締結しています。

【さくらサイエンスプランとは】（https://ssp.jst.go.jp/index.html）

優秀なアジア地域の青少年が日本を短期訪問し、科学技術を通じた交流や人材育成を目的に JST が 2014 年度から実施。全国の大学や研究機関などが独自のプログラムを提案し、採択されることで正式開催されるもの。
2019 年度は 4 回に渡る募集があり、山形大学では本件を含め 6 件が採択されています。

お問い合わせ
学術研究院 教授　横山 潤（多様性生物学／理学部担当）
TEL　023-628-4772　　メール jyokoyam@sci.kj.yamagata-u.ac.jp

配布先：学長定例記者会見参加報道機関

PRESS RELEASE

山形大学
Yamagata University

令和2年（2020年）2月6日

台湾セミナー「日台関係のこれから」を開催します

【本件のポイント】

- ●山形市民を対象に、台湾についてもっと深く知ることができるセミナーを開催。
- ●1月11日の台湾総統選挙を踏まえ、本学の中澤信幸教授が今後の日台関係について報告する。また東京在住の台湾人医師・洪有錫氏が、日本の特に東北地方と台湾とを股にかけた「日台医療ツーリズム」の可能性について報告する。
- ●このセミナーを通して、山形と台湾との相互理解のさらなる深化を目指す。

【概要】

山形市は台湾・台南市と友好都市提携を結びましたが、実際の交流はまだまだこれからです。その交流を深めるためには、お互いの歴史や文化を知ることが重要です。

1月11日に台湾で総統選挙が行われ、蔡英文総統が再選されました。この選挙結果が何を意味するのか、台湾は今後どのように進んでいくのか、そして日台関係や山形との関係はどうなっていくのか、討論していきます。

また、山形には多くの台湾人が旅行で訪れるようになりましたが、その内実はまだまだ表層的なものにとどまっています。そこで注目されるのが「医療ツーリズム」で、観光と医療とをセットにすることで、台湾だけでなく多くの外国人が東北・山形に来ることが期待されます。その可能性についても考えていきます。

【日時】

2020年2月15日（土）　13:00～16:30

【場所】

山形大学小白川キャンパス人文社会科学部103教室

【報告者・題目】

中澤信幸（山形大学学術研究院教授、山形大学都市・地域学研究所所長）
　　「台湾総統選挙とこれからの日台関係」
洪有錫（穂来彩クリニック）
　　「出羽乃白箭（デワノシラヤ）　―日台医療ツーリズムの創生―」

【主催】

山形大学都市・地域学研究所

【申し込み】

参加ご希望の方は、電話または電子メールにて、お名前とご連絡先をお知らせください。
※参加費として500円を頂戴いたします。
電話　023-628-4871（月～水・金曜日午前中のみ）　電子メール　toshiken@human.kj.yamagata-u.ac.jp

お問い合わせ
学術研究院教授　中澤信幸（日本語学）
TEL　023-628-4822　　メール　nakazawa@human.kj.yamagata-u.ac.jp

日台政策研究所 第5回セミナー

日台関係のこれから

一般社団法人日台政策研究所 山形大学都市・地域学研究所 共催

2020年

2月15日（土）13：00-16：30

山形大学小白川キャンパス人文社会科学部103教室

参加費：500円

報告者　中澤信幸（山形大学）

台湾総統選挙とこれからの日台関係

洪有錫（穂来彩クリニック）

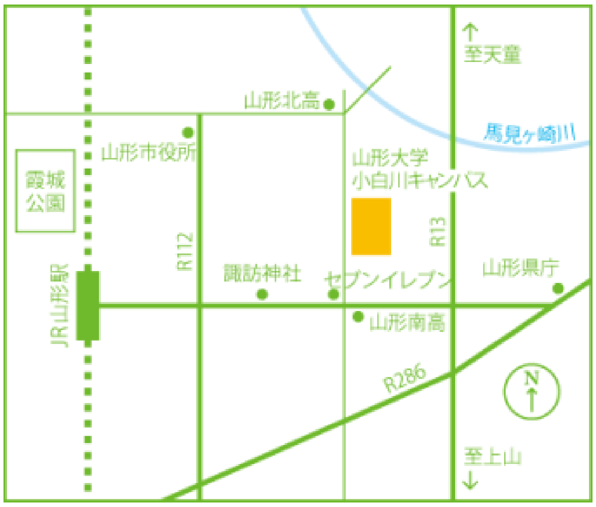
出羽乃白箭（デワノシラヤ）
―日台医療ツーリズムの創生―

お申込み方法

参加ご希望の方は、電話または電子メールにて、お名前とご連絡先をお知らせください。（2月7日まで）
電話：023-628-4871（月～水、金曜日午前中のみ）
電子メール：toshiken@human.kj.yamagata-u.ac.jp

アクセス

山形大学小白川キャンパス
〒990-8560　山形県山形市小白川町1-4-12



【JR山形駅から】
- 東方へ約2km（徒歩25分）
- べにちゃんバス「東くるりん　東原町先回りコース」で「山大前」下車（所要時間約9分）
- 市内路線バス「県庁前・県庁北口行き」で「南高前・山大入口」下車（所要時間約6分）、そこから徒歩約7分

【JR仙台駅から】
高速バス「山形行き」で「南高前・山大入口」下車（所要時間約55分）、そこから徒歩約7分

お問い合わせ

山形大学都市・地域学研究所
電話：023-628-4871　電子メール：toshiken@human.kj.yamagata-u.ac.jp
一般社団法人日台政策研究所
電子メール：nichitaiken@gmail.com

メモ